

平成 30 年 1 月 吉日

JSN 公的研究 研究成果合同発表会のご案内

日本腎臓学会 理事長 柏原直樹
学術委員会 委員長 岡田浩一

謹啓 時下 益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。
平素より、腎臓学会の活動にご協力を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、下記のとおり、平成 29 年度合同研究成果発表会を開催致しますので、ご案内申し上げます。
多くの方のご参加をお待ちしております。

敬白

記

名 称:平成 29 年度 JSN 公的研究班研究成果合同発表会
日 時:平成 30 年 2 月 4 日(日)10:00~16:00
会 場:学術総合センター「一橋講堂」
〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋 2 丁目 1 番 2 号
TEL: 03-4212-3900
<http://www.hit-u.ac.jp/hall/index.html>

以上

平成 29 年度
JSN 公的研究 研究成果合同発表会
プログラム

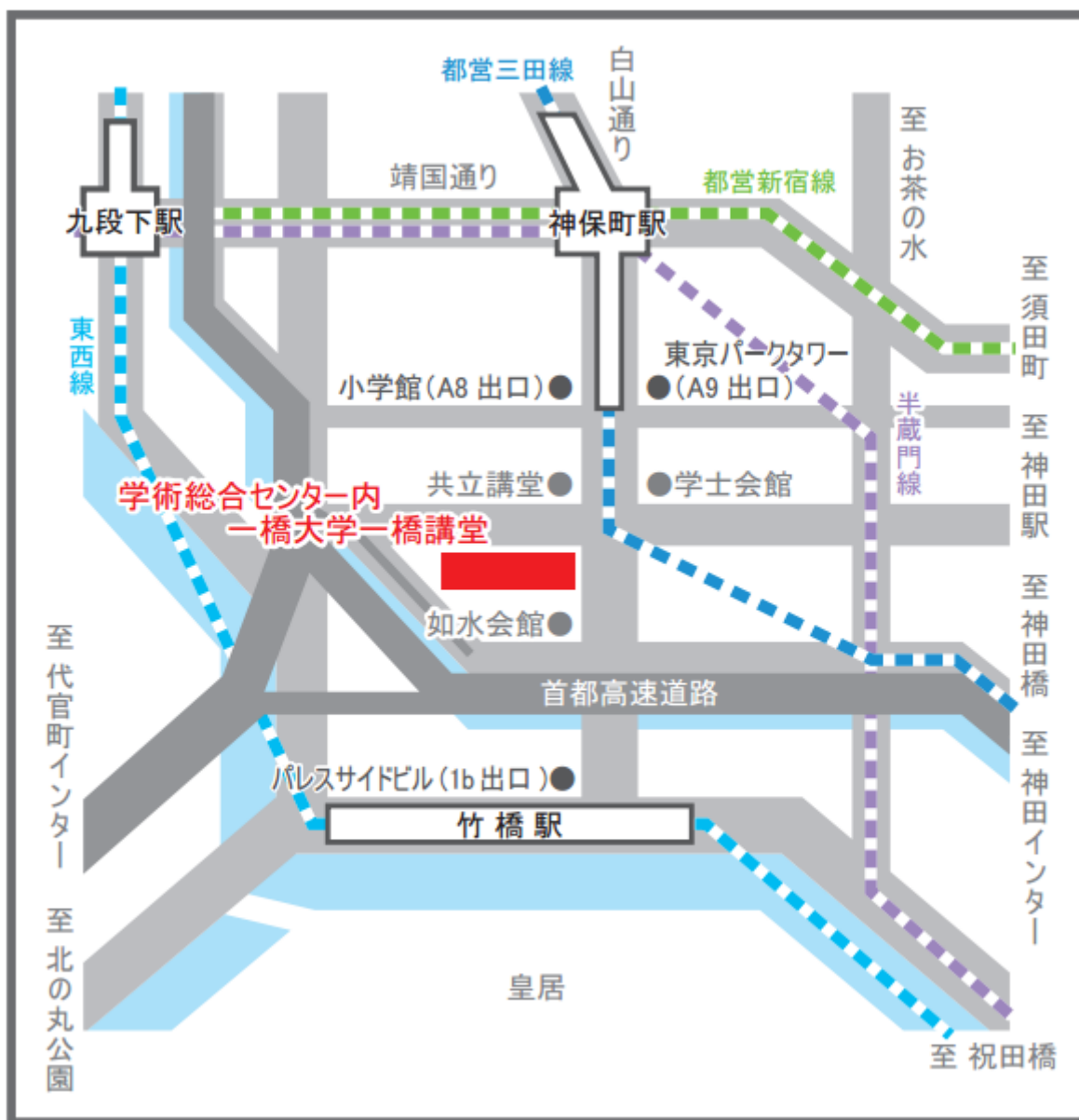
- 10:00(10 分) 日本腎臓学会理事長、厚労省ご担当者挨拶
- 10:10(10 分) 厚生労働行政推進調査事業費補助金(難治性疾患等政策研究事業)
「慢性腎臓病 CKD の診療体制構築と普及・啓発による医療の向上」
研究代表者: 柏原直樹(川崎医科大学 腎臓・高血圧内科)
- 10:20(20 分) 厚生労働科学研究費補助金
「臨床研究等 ICT 基盤構築研究事業腎臓病データベースの拡充・連携強化と包括的データベースの構築」
研究代表者: 柏原直樹(川崎医科大学 腎臓・高血圧内科)
- 10:40(10 分) 厚生労働省科学研究補助金(難治性疾患政策研究事業)
「指定難病制度の普及・啓発状況の把握および普及・啓発のための方法論の開発」
研究代表者: 和田隆志(金沢大学腎臓内科)
- 10:50(100 分) 厚生労働省科学研究費補助金難治性疾患等政策研究事業
(難治性疾患政策研究事業)
「難治性腎疾患に関する調査研究」
研究代表者: 成田一衛(新潟大学腎臓病内科)
- 12:30(45 分) 昼食
- 13:15(5 分) AMED ご担当者挨拶
- 13:20(40 分) 日本医療研究開発機構 腎疾患実用化研究事業
「慢性腎臓病(CKD)進行例の実態把握と透析導入回避のための有効な指針の作成に関する研究」
研究代表者: 山縣邦弘(筑波大学 医学医療系 腎臓内科学)
- 14:00(20 分) 日本医療研究開発機構 腎疾患実用化研究事業
「糖尿病性腎症の進展予防にむけた病期分類—病理—バイオマーカーを統合した診断法の開発」
研究代表者: 和田隆志(金沢大学腎臓内科)
- 14:20(20 分) 日本医療研究開発機構 循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策実用化研究事業
「ICT を活用した Diabetic Kidney Disease の成因分類と糖尿病腎症重症化抑制法の構築」
研究代表者: 柏原直樹(川崎医科大学 腎臓・高血圧内科)
- 14:40(15 分) 休憩

- 14:55(15分) 日本医療研究開発機構 腎疾患実用化研究事業
「メガリンを標的とした腎機能温存・再生療法の開発」
研究代表者:斎藤亮彦(新潟大学大学院医歯学総合研究科 機能分子医学講座)
- 15:10(15分) 日本医療研究開発機構 腎疾患実用化研究事業
「消化管ペプチドグレリンによる慢性腎臓病新規治療戦略の確立」
研究代表者:伊藤 裕(慶應義塾大学内科 腎臓内分泌代謝内科)
- 15:25(15分) 日本医療研究開発機構 腎疾患実用化研究事業
「新規バイオマーカーを用いたスコア法によるIgA腎症早期発見・早期診断を介した透析移行ゼロ化に向けた試み」
研究代表者:鈴木 祐介(順天堂大学医学部 腎臓内科)
- 15:40(15分) 日本医療研究開発機構 腎疾患実用化研究事業
「霊長類を用いた再生腎臓による実践的前臨床試験」
研究代表者:横尾 隆(東京慈恵会医科大学 腎臓・高血圧内科)
- 15:55(5分) 事務局連絡(厚労省、AMED)

文書による研究成果発表を行う研究班

1. 日本医療研究開発機構 (AMED)
医薬品等規制調和・評価研究事業
「腎領域における慢性疾患の臨床評価ガイドライン策定」
研究代表者:南学正臣(東京大学腎内分泌内科)
2. 日本医療研究開発機構 (AMED)
希少難治性疾患に対する画期的な医薬品医療機器等の実用化に関する研究
薬事承認を目指すシーズ探索研究
「iPS 細胞モデルを用いた多発性嚢胞腎に対する創薬スクリーニング系の構築」
研究代表者:長船健二(京都大学 iPS 細胞研究所)
3. 日本医療研究開発機構 (AMED)
希少難治性疾患に対する画期的な医薬品医療機器等の実用化に関する研究
薬事承認を目指すシーズ探索研究
「ALPORT 症候群に対する新規治療法の開発」
研究代表者:野津寛大(神戸大学大学院医学系研究科内科系講座小児科学分野)
4. 日本医療研究開発機構 (AMED)
診療に直結するエビデンス創出研究
「IgA 腎症予後分類のブラッシュアップのための前向きコホート研究の推進とハイリスク患者の透析移行を阻止する治療法の開発」
研究代表者:川村哲也(東京慈恵会医科大学腎臓・高血圧内科)
5. 日本医療研究開発機構 (AMED) 循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策実用化研究事業
「エピゲノム情報を用いた糖尿病性腎症に対する新規診断・治療法の開発」
研究代表者:丸茂丈史(東京大学先端科学技術研究センター臨床エピジェネティクス講座)
6. 日本医療研究開発機構 (AMED) 循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策実用化研究事業
「糖尿病性腎症を調節するマイクロ RNA の解析—バイオマーカー・新規遺伝子治療法開発—」
研究代表者:森下義幸(自治医科大学附属さいたま医療センター腎臓科)
7. 日本医療研究開発機構 (AMED)
希少難治性疾患に対する画期的な医薬品医療機器等の実用化に関する研究
医師主導治験
「世界初・日本発ミトコンドリア病治療薬 MA-5 のオールジャパン臨床治験」
研究代表者:阿部高明(東北大学大学院医学系研究科腎高血圧内分泌科)
8. 日本医療研究開発機構 (AMED)
診療に直結するエビデンス創出研究
「非典型溶血性尿毒症症候群 (aHUS) の複合的アプローチによる診断と治療向上に関する研究」
研究代表者:加藤秀樹(東京大学医学部腎臓・内分泌内科)
9. 日本医療研究開発機構 (AMED)
長寿・障害総合研究事業 障害者対策総合研究開発事業
「高齢腹膜透析患者の生活活動性を高めるための地域連携システムの構築と普及のための対策」
研究代表者:猪阪善隆(大阪大学大学院医学系研究科腎臓内科)

会場のご案内



[交通のご案内]

<地下鉄>

- ・東京メトロ半蔵門線、都営三田線、都営新宿線
神保町駅 (A8・A9 出口) 徒歩 4 分
- ・東京メトロ東西線
竹橋駅 (1b 出口) 徒歩 4 分

平成 29 年度 JSN 公的研究 研究成果合同発表会 事前参加申込書

返送先：JSN 公的研究班 研究成果合同発表会 運営事務局

株式会社ピーシーオーワークス 担当：富澤、宍戸、松村

FAX：03-3291-3635 (TEL：03-3291-3636)

締切日：2018 (平成 30) 年 1 月 17 日(水)

日時：平成 30 年 2 月 4 日 (日) 10：00～16：00

場所：学術総合センター内 一橋大学一橋講堂

※交通費・昼食の支給はございません

<参加者>

日本腎臓学会会員 氏名：_____ (職名：_____)

所属機関名：_____

★ 代理者または同行者は下記へご記入ください。

代理の方の所属・職名・氏名：_____

同行者の方の所属・職名・氏名：_____

同行者の方の所属・職名・氏名：_____

同行者の方の所属・職名・氏名：_____